

2016 年度 学院評価 関係者評価（学院モニター）

1. 「自己評価総括表 ※生徒・保護者の評価アンケート集計をもとに、学校側として自己評価したもの」をご覧ください。率直な感想・ご意見等をお書きください。

- ▶ 下記“3”の項目を評価されたものと思いますが、比較や割合（パーセント）などが表されていてわかりやすい。今後も続けてほしい。
- ▶ 全般的な感想等を記入します。関係者評価（教職員）の中で学院（あなた）となっていますが、主語が「学院」と「あなた」では回答内容が異なる場合があるので、数値の評価の仕方が難しいと思いました。「あなた」の場合は自己評価（自分の責任で、自分の成果や努力の状況）を評価するもので、評価に個人差が出るので、目標管理にすると判断しやすい。ただし、目標値が高過ぎると評価は悪い。「学院は」の場合は他者評価もしくは内部評価であるので評価した根拠が明確でないとなぜそう感じたか説明責任が持てない場合があるので甘くなりがちである。

学院評価が生徒の人格・学力の成長と社会人としての礎を築く基となる資料として一部でも生かされるよう期待しています。このことが、学院全体の評価にもつながるものと考えています。

2. 「関係者評価（生徒・保護者）」をご覧ください。率直な感想・ご意見等をお書きください。

- ▶ 全体的に評価が上がっていることは、先生方のご努力の結果だと思います。生徒・保護者の声に耳を傾け、今後も学院の働きのため、よろしく願います。
- ▶ 生徒・保護者共、ルーテル学院に対して、概ね肯定的にとらえられていて、うれしいことだと思う。

各項目、生徒や保護者が日頃から思っていることや期待していることなどで、アンケートに答えやすかったと思う。

- ▶ 生徒評価での高校のアンケート回収率が気になります。30%以上の生徒が無回答という状況は、そのすべてが無関心ではないとしても何がしか憂慮すべき問題がありそうです。アンケートに協力する生徒たちは、概ね満足しているか出来れば改善したいと、肯定的に学校生活を送っていると思いますが、無関心な生徒たちは、学校に対しての何がしかの不満や諦めを抱いているのではないのでしょうか。

生徒自己評価と保護者アンケートの其々4項目の「授業と学習の取り組み」と「学習指導・学力向上」については関連性がありますが、保護者の否定とする評価が生徒のほぼ倍の数字になっているのは、保護者の学校の「学習指導」に対しての物足りなさが現れていると思います。

- ▶ ボランティア活動を除くすべての項目で肯定と評価している人が圧倒的に多く、しかも前年度より改善していると評価しており、大変すばらしい。

すべての項目で否定は減少しているが、不十分だと感じている保護者は「なぜそう感じたのか?」「生徒（子ども）からの情報なのか」何か具体的な理由があれば、「どうしてほしいのか?」「その改善策は何かあれば出してください」など対策案を記入する欄があれば、この評価が具体的に生かせると思われま。否定と評価された数値で20%程度以上を示された項目

は、何等かの対応が必要ではないでしょうか。また、保護者の否定評価は我子の様子や情報から、不満または不安と感じている場合があるので、どのような改善が必要と思うかの記入欄があれば不安内容を知ることができ改善できることもある。何をどのように改善するか、先ずは知ることが大切であると思われます。

- 生徒の方の 16、17 の部分である一人ひとりの満足感が他と比べて低いのが残念。保護者への全体的な数値はどれも高く素晴らしい。生徒・保護者共に、15 年から 16 年にかけて概ねポイントが上がっているところは、先生・職員の方々のご努力と思います。

3. 「関係者評価（教職員） 学院評価にともなうアンケート調査結果」をご覧になった率直なご感想・ご意見等をお書きください。

- 学院の「学力的成長」・「学習指導」が必要と先生方が多数感じていらっしゃることは重要点だと思えます。学習指導の自己評価は大変良い、良いで 83.2% ですので先生方は生徒の指導にがんばっていらっしゃると思えます。生徒の「学力的成長」に結びつくことができると願います。先生方の日々の忙しさはわかりますが、礼拝の時間は生徒も先生も共に聖書のみ言葉を聞く時であってほしいと思えます。
- 先生方が「生徒・保護者」のアンケート結果を真摯に受けとめていることを理解できる。キリスト教教育を行う学校としての原点を見つめつつ、今後のあるべき姿を一丸となって取り組もうとされていることが伺えてうれしい。肯定的にとられている項目が多いのですが、否定的にとらえられていることに対しても、検討していかなれることを望みます。
- 「学習指導」については（I-C）教職員の大変良い・良しとする自己評価と、（Ⅷ-2）学院に必要（不足）なものがほぼ同数となっています。「学習指導」への取り組み方に学院の課題があるような気がします。
- I. 自己評価は、自分に甘いか厳しいかで分かれていますが、やや悪いと自己評価した人数を大切に組織として具体的方針や目標を立てて取り組むことが結果につながると思われます。 II. の（3）は前年よりよくなっているが、マイナスをプラスにするために具体的にどうすればいいと思うのかの項目又は欄に記入できるようにすると改善のヒントになるのではないのでしょうか。自己評価は自己の目標が高過ぎても、低過ぎても良くない。目標値を上回るか、下回るかで評価が分かれるので適切な目標設定が大切でしょう。（目標管理の良さ、むずかしさでしょう。） III. はコミュニケーションが取れていないと感じている人が前年より増加しているのは改善の必要があると思えます。コミュニケーションは意見や考え・価値観などの心の通いがうまくいくことですが、1つの方向を向いていることが重要です。もう1つは、学校は生徒の成長（人格的成長）と学力保障・卒業後の進路などを願って情報・意見を交わすものであるので自己主張と他者理解がないと生徒のためにはならないと考えます。 IV. は回答は1つであってほしい。IVの（3）に回答した人へは何を公開していないのか、何を公開してほしいのかまたは、どのように公開してほしいのか記述する欄があると検討しやすいのではないのでしょうか。 VI. は学力的な成長が不十分と回答した人が約 70% いる。目標値をどのように設定しての評価かにもよるが、このままでは良くないと感じている教職員が 59 名中 42 名いるのだから、対策によっては今後が楽しみである。
- VII・VIII. については、どれも必要であるし、保護者も期待している項目であるので、できるだ

け1つに絞って回答してもらう方が重点課題が見えやすい。

- どの項目も数値はいいかと思えます。Ⅷ-(6)の3番目の礼拝の時間帯の仕事の件が残念。お忙しい日々であることは察しはつきますが、学校の根幹の部分であるため改善をしていただきたい。

4. その他、ルーテル学院中学・高等学校への具体的なお助言・ご提言をお書きください。

- 先生方が100周年に向い、学院の進むべき方向をお互いに話し合い一つになって進んでいかれることを願っています。スポーツの成長は素晴らしいですしうれしいことです。伝統である英語・音楽の成長も願っています。先生方の日々の御指導に感謝し、これからもよろしく願いいたします。
- 学院内部に留まらず、外部の方々の意見なども取り入れながら常にいい意味で変革されることを、卒業生・卒業生保護者・地域の住民として応援しています。“頑張ってください。”
- 『九州学院』という姉妹校があるのですから、教職員の定期的な人的交流を図っては如何でしょうか。互いに刺激しあい、切磋琢磨して私学受難の時代を乗り越えて欲しいと思えます。「人格的成長」や「生活指導」は率先垂範ですね。
- 少数意見の中にも大切なヒントがあると思えますので、アンケート内容をどう活用するかが重要だと思います。